

モバイル通信

Mobile Internet access

モバイル環境でのインターネット接続の広がり通信速度の向上

携帯電話を利用したインターネット接続は、デジタル方式が導入された1993年から徐々に普及し、移動中にリアルタイムで情報の送受ができることが評価され、ビジネス用途としても認知され始めました。利用者が増加するにつれ、通信速度の更なる高速化や常時接続に対する要望が高まり、1997年よりデータ量に応じて課金をするパケット通信サービス「DoPa」が開始されました。

1999年に開始した「iモード」は携帯電話端末のみで手軽にインターネット接続ができることから一般に広く受け入れられ、一気に携帯電話によるインターネット接続が普及するきっかけとなりました。また、データ料金を気にせずに利用したいという声から、2004年にはiモードのデータ通信料金が定額となる「パケ・ホーダイ」が開始されました。

データ通信を行う通信量の増加から、通信速度の向上に対する要望は更に高まり、2001年にはW-CDMA方式の「FOMA」、2010年にはLTE方式の「Xi」が開始されました。

| 年 | | 下り最高速度 |
|-------|---------------------------------------|----------|
| 1993年 | デジタル方式携帯・自動車電話サービス提供開始 | 2400bps |
| 1995年 | 携帯・自動車電話の「デジタル9600bps高速データ通信サービス」提供開始 | 9600bps |
| 1997年 | パケット通信サービス「DoPa」(ドゥーパ)提供開始 | 28.8kbps |
| 2001年 | W-CDMA方式の「FOMA」(フォーマ)サービス開始 | 384kbps |
| 2006年 | HSDPA方式の「FOMAハイスピード」提供開始 | 3.6Mbps |
| 2008年 | 「FOMAハイスピード」が受信時7.2Mbpsに対応 | 7.2Mbps |
| 2010年 | LTE方式の「Xi」(クロッシィ)サービス提供開始 | 75Mbps |

NTTドコモの通信速度の変遷

W-CDMA : Wideband Code Division Multiple Access
FOMA : Freedom Of Mobile multimedia Access

HSDPA : High Speed Downlink Packet Access
LTE : Long Term Evolution